

コース名		科目名			対象学年		
臨床医学		学修継続への基礎的教養			4		
開講学期		科目責任者		副責任者			
2 学期		栗林 太		山内 明			
目的							
<p>発展する現代医学に対応する高度な医療を理解する能力を持つための土台となる基礎医学を正確に理解することが目的です。科学的探究心と専門知識に基づく問題解決能力を培うことが目的です。自己省察力を身につけながら生涯にわたって学び続けることが目的です。</p>							
授業到達目標							
<p>1. 臨床医学を修得し応用するのに必要となる基本的な科学的知見や概念を説明できる。 2. 医師として必須な医学領域を含むリベラルアーツを把握する。 3. 卒後も生涯に渡って自分自身で学修を継続するための基礎的教養を身につける。</p>							
授業計画							
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容
1	8/26	月	2	講義	栗林	生化	卒業時能力 (DP) に向かう本科目の狙いと位置づけ。評価について。コアカリ (H28 年度と R4 年度改訂版) と CBT。生命現象の科学 (物質と化学)
2	8/26	月	3	講義	栗林	生化	細胞の構成と機能
3	8/28	水	4	講義	栗林	生化	細胞内情報伝達と細胞間情報伝達 (内分泌等)
4	8/28	水	5	講義	栗林	生化	組織学・形態
5	8/28	水	6	講義	栗林	生化	中枢・末梢神経の形態と機能
6	9/ 4	水	4	講義	毛利聡	生理 1	循環器の発生・生理と臨床
7	9/ 4	水	5	講義	毛利聡	生理 1	呼吸器の発生・生理と臨床
8	9/ 4	水	6	講義	毛利聡	生理 1	消化器の発生・生理と臨床
9	9/ 6	金	1	講義	増田清	医学部	ゲノム・染色体・遺伝子
10	9/ 6	金	2	講義	増田清	医学部	遺伝的多様性と疾患
11	9/ 6	金	3	講義	増田清	医学部	遺伝子異常
12	9/ 9	月	1	講義	岡本安	薬理	薬理学 (薬理作用の基本)
13	9/ 9	月	2	講義	岡本安	薬理	薬理学 (薬物の動態と評価)
14	9/ 9	月	3	講義	岡本安	薬理	薬理学 (生体と薬物)
15	9/13	金	1	講義	栗林	生化	病原細菌の総論と各論
16	9/13	金	2	講義	栗林	生化	ウイルスと寄生虫
17	9/13	金	3	講義	栗林	生化	免疫の基本・抗体
18	9/24	火	1	講義	栗林	生化	免疫系の疾患と治療
19	9/24	火	2	講義	栗林	生化	糖代謝
20	9/24	火	3	講義	栗林	生化	脂質代謝
21	9/26	木	4	講義	栗林	生化	核酸代謝 アミノ酸代謝
22	9/26	木	5	講義	栗林	生化	ビタミン、微量元素
23	9/26	木	6	講義	栗林	生化	代謝系の統合

評価方法
<p>[期末試験]100%</p> <p>[評価方法]多肢選択試験</p>
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて
<p>試験問題と正解を公開いたします。成績の悪い学生には補講を実施予定です。</p>
教科書
<p>指定ありません。</p> <p>講義担当教員からの連絡や配布プリントにご留意ください。</p>
参考書
<p>指定ありません。</p> <p>講義担当教員からの連絡や配布プリントにご留意ください。</p>
準備学習（予習・復習等）
<p>予習に関しては、夏休み期間中にコアカリの該当項目の学修を中心に行ってから講義に臨んでください。予習時間はおおむね1回の授業につき1時間程度必要と思います。臨床医学の土台となる基礎医学を正確に理解するために復習にも1時間程度費やしてください。</p>
講義についての注意事項
<p>(特になし)</p>
昨年度からの変更点・改善項目
<p>(特になし)</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について
<p>本科目履修には3学年までに学修したリベラルアーツや基礎医学等の知見が必須です。臨床実習を開始する前の基本的学問です。本学ディプロマ・ポリシーのうち、特に「1. プロフェッショナリズム、生涯にわたって共に学ぶ姿勢」、「3. 情報・科学技術を活かす能力」と「6. 科学的探究、専門知識に基づいた問題解決能力」の修得を重要視しています。</p>
ナンバリング
<p>DLLC415</p>